



市役所に到着したスノーマシン

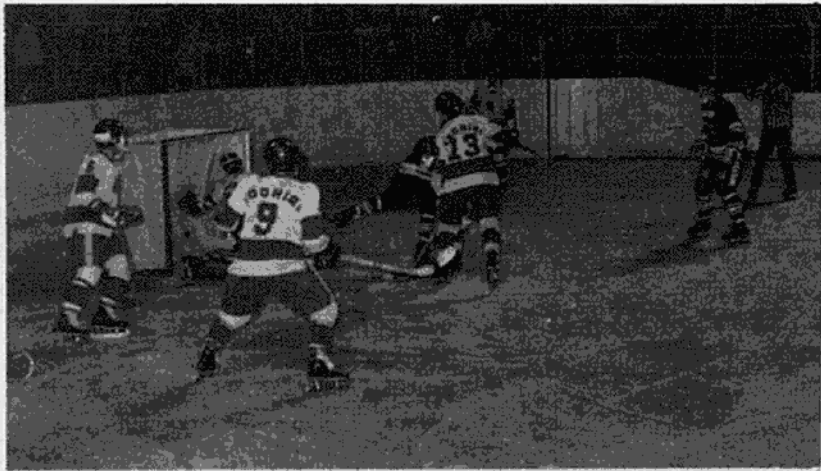
### スノーマシンが到着

人工雪を降らせる「スノーマシン」が、十一月十五日、市役所に到着しました。今回購入された機械は、スノーマシン四台、それを取り付ける自走車四台、水を冷却するクリーニングタワー三台などです。今月中旬から霧降高原スキー場で、本格的に降雪作業を行い、今月下旬にはスキーの滑走を可能にすることになっています。

### フィンランドと

### 親善試合

日本・フィンランド親善ジュニアアイスホッケー試合が、全国各地で行われましたが、日光市でも十一月十日古河リンクで、日光ジュニア選抜が試合を行いました。結果は1対15で敗れましたが、



熱戦に対し多くの観客から盛んな拍手をうけていました。それに先きだち、フィンランドの团长ハリー・ファゲルストロム氏が市役所を訪ね、星野市長と約一時間ほど歓談しました。  
ジュニアの親善試合



好評だった農林産物直売会

### 農林水産物直売会

恒例の農林産物直売会が、十一月十八日から三日間、中央公民館前広場で開かれました。市内の五十四農家から、新鮮な野菜や芋類、漬物などが出品され、大変好評でした。



市長と歓談するハリー团长

## 市史編さん室だより

### 明治からのあゆみ

### 大正十二年↓十三年

①日光山内幼稚園開園（大正12年4月16日）

大正初期の清滝地区精銅所附属幼稚園と、入町地区愛隣幼稚園の開設で、幼稚園教育への関心が高まり、時の輪王寺門跡今井徳順は、幼稚園の創設を決意した。大正12年は、日光開山勝道上人千百年御遠忌で、その記念事業として四本竜寺境内の現在の場所に、三十二坪（一〇五・六平方尺）の庫裡を改造して開設された。

第一回の入園児は、男十九名、女二十一名の計四十名で、職員は、園長の今井徳順を含め四名。以来五十余年の卒園児数は、五千名をこえる。

②小説家丸岡明来晃（大正12年）

湯元温泉を舞台に「風に騒ぐ葎の如く」を発表し、外国人の避暑の様子を描いている。

③関東大震災（大正12年9月1日）

明治以後の日本の災害史上、太平洋戦争に次ぐ被害を出した関東大震災は、死者九万九千三百三十一名、傷者十万三千七百三十三名、全壊家屋十二万八千三百六十六戸と記録されている。

さいわい日光地方は、被害がなかった。しかし震災による東京方面からの避難者は多く、日光町に三百九十六名、小来川村に三十五名と記録されている。被災